

無双野地 一吹寄極形態一

○コンセプト

小幅の板その豎板の幅だけ間隔をあけながら打ちつけた同形の連子を前後に二つ並べる無双窓。この手法を化粧野地板に用いた「無双野地」。

これと従来からある吹き寄せ垂木を同時に用いることで、垂木と化粧野地の間に光が入ることで不規則な模様を形成する。建物の前に池を配置することで、昼は水面から反射した光がこの「無双野地」に水面が映る。夜は屋内の照明の光が「無双野地」に反射し模様を造り出す。

「陰」と「陽」を楽しむ和の空間になる。

